

民俗学研究

選択 2単位

鈴木 敏弘

1. 授業の概要(ねらい)

民俗学とは、各地に伝えられている生活習慣を素材として、人々の生活の変遷を明らかにし、そこから過去の事象を探ったり、地域の生活誌を記す学問です。

その基本となるのは、資料の収集と分析です。民俗学を学ぶことの第一歩は、聞き取り調査です。ヨーロッパ民俗学、とくにドイツでは、ライフヒストリー研究が盛んに行われています。受講者の皆さんには、祖父母・父母・近所の方などから聞き取りをもらい、ライフヒストリーの研究方法を学んでもらいたいと思います。

2. 授業の到達目標

聞き取り調査をおこなって、発表できること。

発表した内容を、きちんとまとめることができること。

調査報告書を作成する。

3. 成績評価の方法および基準

出席・調査・報告をもとに総合的に評価します。

4. 教科書・参考文献

参考文献

『王貞治トレジャーズ』（ぶんか社）

『隅田川の伝説と歴史』（東京堂出版）

5. 準備学修の内容

祖父母・父母・近所の方などから聞き取りをする。

聞き取りする内容について、文献で確認する。

6. その他履修上の注意事項

この講義では、自分で学ぶことを目標としています。したがって、自分で調べる、報告をする、という積極的な姿勢を望みます。

7. 授業内容

【第1回】	ガイダンス
【第2回】	民俗学とは何か
【第3回】	民俗学の対象
【第4回】	民俗学と歴史学
【第5回】	民俗資料の検討 ①自治体データの収集と地域社会
【第6回】	民俗資料の検討 ②基本文献の収集方法
【第7回】	民俗資料の検討 ③民具資料
【第8回】	民俗資料の検討 ④古文書の収集
【第9回】	民俗調査の検討 ⑤公文書の収集
【第10回】	民俗調査の方法 ①話者の発掘方法
【第11回】	民俗調査の方法 ②聞き取り調査の方法
【第12回】	民俗調査の方法 ③文書史料の分析
【第13回】	民俗調査の方法 ④報告書の作成法パターン1
【第14回】	民俗調査の方法 ⑤報告書の作成法パターン2
【第15回】	まとめ・報告